

2019年エムズ K-car 耐久レーシングゲーム開催要項

エムズ K-car 耐久レーシングゲーム開催の主旨

基本はクルマを通じたコミュニティ創りです。

数あるクルマを楽しむ方法の中でも、ひととき楽しいモータースポーツを通じて沢山の仲間と出会う事の楽しさ、速く走ることの満足感、勝利する事での感動…etc 全てが日常の生活では味わうことが出来ない事を経験できる事だと思います。

しかし、レースとなればさまざまなハードルがあります、そのハードルを下げる事が出来たのが K-car 耐久だと自負しています。ただ経験を積んで歴史ができて行くと、自然とハードルが元に戻ってしまいます。そのハードルはステータスかもしれませんが、K-car 耐久にはあまり必要でない物です。だってレーシングゲームですから。

このイベントは安全第一、勝負は二の次と理解される、モータースポーツを初めて体験される方を想定して運営しています。

■開催日

1月14日 K-car 耐久レーシングゲームテストデー

Rd.1 2月10日(3.5h) PM

Rd.2 4月14日(7h)

Rd.3 6月9日(3.5h) PM

Rd.4 9月8日(3.5h) PM

Rd.5 10月27日(3.5h)PM

Rd.6 12月15日日(6h)

全て1ヒートの連続走行です。

- 2019年も、2018年と同じくドライバー交代時に「抽選」により3分または4分のピットストップにします。(Rd.2及びRd.6では除外)
給油時には5分間ペナルティがあり、抽選により給油できる量が変わります。
ただし、給油のみのピットインはできず、給油後に抽選により3分または4分のピットストップが必要です。(Rd.2及びRd.6では給油のみのピットインができます)
- 参加車両規定に大きな変更点はありませんが、下記の要綱で共通車両規定を定めました。
- 各クラスの参加台数や各クラス内でのタイム差などを考慮し、ターボAクラスにエントリーされている軽度な軽量化されているチームが、660クラスにエントリーできるようにしました。
- 2019年度よりターボBクラスには1分28秒を切らないNA車両もエントリーOKとします。理由はクラスの参加台数を均一化するためです。
- 従来のターボBクラスにエントリーされていた車両も660の各クラスでのエントリーを可能とします、(もちろん660各クラスの基準タイムに準じます)
- 2019年度より660Dクラスは、新設されたK-car 耐久ジュニアシリーズへ移行します。

7. 2019年のRd1, 3, 4, 5では九州の唯一の国内トップ、Jプロツアーに参加するサイクリングロードレースチームVC FUKUOKAとのコラボ開催いたします。

内容はまだ正式には決まっていますが、それによりパドックが以前より若干狭くなりますので2019年よりスポット参加の場合のパドックの追加はできなくなりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

①クラス分けは下記の通りとします。

ターボAクラス 1分25秒を切らないチーム

※このクラスはレース経験があり当イベントの主旨を特に理解して頂けるチーム

ターボBクラス 1分28秒を切らないチーム

660Aクラス 1分30秒を切らないチーム

660Bクラス 1分33秒を切らないチーム

660Cクラス 1分36秒を切らないチーム

②上記各クラスにエントリーをしてクラス指定のラップタイムを切った場合はその周回は無効とします。

③クラス指定のラップタイムを5回以上切った場合は表彰対象から除外させていただきます。

※Rd. 2 及び Rd. 6 では10回以上で章典外です。

④基本的には660NAの車両はどのクラスにもエントリーが可能ですが、

このクラス区分の主旨を十分ご理解して、各クラスを選択して頂くようお願いいたします。

⑤年間ポイントを各クラスごとでの表彰ではなくポイント獲得の総合の順位とします。

シリーズの途中でクラスを変更してもチーム名を変更しなければ合計のポイントとします。

⑥順位によるポイント及び参加台数による係数は2018年と同じです。

共通車両規定

| | |
|------------------------|--|
| エンジン | <ul style="list-style-type: none">・エンジンは車検証、及び新車時に搭載されている型式のエンジンのみとします。・ターボAクラスのみ排気量のUPは認めますが、エンジンのブロックは同型の物を使用して下さい。・エンジン等からのオイル漏れ等が絶対無いようにメンテナンスをお願いいたします。 |
| タイヤ ブレーキ サスペンション | <ul style="list-style-type: none">・ブレーキ性能、コーナリングスピードの平均化のために、使用出来るタイヤはラジアルタイヤのみとします。・サイズは自由ですが、いかなる場合もタイヤが路面以外と接触しない事とします。・タイヤサイズ変更の為にプリスター等のワイド化は、ターボAクラスのみとします。・ブレーキは車検に通る範囲であればパット、ローター、キャリパーホースを含め自由です。・サスペンションは、車高調も含め自由ですが、取り付け位置はターボAクラスを除き元の位置を変える事は出来ません。 |
| コレクタータンク・燃料ポンプ | <ul style="list-style-type: none">・ガソリンの偏り防止の為コレクタータンクを1個まで装着することができます。 |

| | |
|------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コレクタータンクは、公平化の為 EMZ の指定タンクに限ります。 ・コレクタータンク及び燃料ポンプをドライバーと同じ室内に装着している車両は、何らかの形でドライバーへの燃料飛散防止のために「防火壁」又は、「防火布」で一時的にでもドライバーを保護しなければならない。 ・「防火壁」や「防火布」で覆った場合は必ず内部を確認できる様にする事。 |
| 燃料タンク | <ul style="list-style-type: none"> ・燃料タンクの「改造」・「加工」・「追加」は一切認めない。又、メーカーが指定する「燃料給油量」を超えることは認めない ・燃料タンクは純正搭載位置からの変更は認めない。 ・給油口から燃料タンクまでの「ホース又は配管」は一切加工してはならない。 ・燃料タンクは車両に対してメーカーが純正搭載した燃料タンクに限られる。 |
| マフラー・バッテリー | <ul style="list-style-type: none"> ・エキゾースト系の変更は、車検対応の範囲のみ OK です。また HSR 九州の音量規定の 105dB 以下をクリアーできる事とし、マフラーの出口は後方に限ります。 ・バッテリーを移動している車両は、必ずケースに入れること。 ・全ての車両でプラス端子は必ずシールドすること。 |
| 外装・内装 | <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ A クラスを除き大きく外見が変わらないようにして下さい。 ・ライト・ウィンカー等の一般公道で使用するものは取り外さず、尚且つ作動する事とします。 ・ビート・カプチーノなどのオープンカー（車両）でオープンで走行の場合は 4 点式以上のロールバーを装着し、ドライバーを保護するため、必ずドライバーよりも高い位置に装備されていること。またロールバーの固定は、ボディーにボルト止め又は、溶接で固定していること。 ・運転席の窓を空けて走行する車両は『防護ネット』をしっかりと装着する事とし、ビスなどで固定してあること。テープなどの簡易な装着の場合は使用できません。 ・牽引フックは純正だけではなく、レスキューが一目でわかる様にサーキット用の牽引フックを必ず取り付けて下さい。 ・ターボ A クラス以外は、ドアやガラスなど軽量化の為の車体の変更は出来ません。また、どのクラスにおいても、フロントガラスの交換は一切できません。 ・ターボ A クラスもしくは、ロールバー装着車以外は、助手席の取り外しはできません。 ・各参加車両は、必ずそのクラスごとの識別プレートを前後規定位置に装着することを義務づけます。 |

ご不明な点は、必ず事前にご確認ください。